

あいちの印刷

12

2025.12
No.649



琵琶湖の夕焼け（「休暇村近江八幡」より）

もくじ

■ 卷頭言「AI活用セミナーを通じて感じた変化と可能性」	3
■ 愛印工組・10月期理事会 組合創立70周年記念事業に注力	4
■ 10年・15年勤続表彰者 令和7年度 永年勤続優良従業員表彰	5
■ 下請振興法が改正 2026年1月から「下請法」が「取適法」へ!	6
■ 全印工連 人的資本経営関連情報(動画)の提供	8
■ 全印工連:CSR認定 ワンスター:(株)鈴木紙工所／ツースター:半田中央印刷(株)	8
■ JapanColor情報 「Japan Color認証制度」取得状況	9
■ 愛知労働局・管下労働基準監督署 「職場の年末安全衛生推進運動」	10
■ 安全経営あいち 安全経営あいち賛同事業場制度	11
■ 情報ひろば	12
■ 第62回光文堂新春機材展「Print Doors 2026」	14
■ 日本印刷技術協会(JAGAT)「印刷白書2025」	14
■ 編集だより	14

人に 社会に 想いを 力タチに

O/O 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。



成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために富士フイルムは提案します——成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
SUPERIA

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT リヨービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

RMGT-CSPI ともに創る印刷の未来



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT-CSPI の詳細については、こちらをご覧ください。
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



SCシリーズ断裁機 登場。

Safety *Smart*
Speedy

効率と安全性能が更に進化。ナイフと
バックゲージの速度が向上し、クラン
ブ上昇安全機能を搭載。AIとの連携
(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

SC
SERIES SCシリーズ断裁機



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z



ITOTEC



CIP4™
Standard

CIP4に対応
(オプション)

ITOTEC

イトーテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>

e-mail info@itotec.co.jp



本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495

[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

巻頭言

「AI活用セミナーを通じて 感じた変化と可能性」

副理事長 渡辺 達也

経営革新委員会 担当副理事長の渡辺です。

10月に開催しました経営革新委員会セミナー「DX推進・AI活用に特化!ー新たな価値とニーズを掘り起こせー」には、多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。DXやAIに対する関心の高さを改めて実感いただく機会となっていましたら幸いです。

私自身、2022年にChatGPTが登場した際にはあまり活用していませんでしたが、最近になってMicrosoft Copilotを使い始め、文章の添削などに活用するようになりました。

今回のセミナーを通じて、AI技術が驚くべきスピードで進化していることを実感し、「AIを知らないでは済まされな

い時代」が到来していると強く感じました。

現在では、学生たちが就職活動にAIを活用していると聞きます。そうした若者が社会に出て活躍していくことを思うと、私たちもそのスピード感にしっかりとついていく必要があると痛感しました。

今回のセミナーを通じて、私自身も改めてAIの可能性と重要性を実感し、遅ればせながら勉強を始めた次第です。

最後に経営革新委員会の事業としまして3月に企業見学会を計画しております。皆さんにとって役立つ見学会にしたいと考えておりますので、是非多くのご参加をお待ちしております。



CONNECTED AUTOMATION

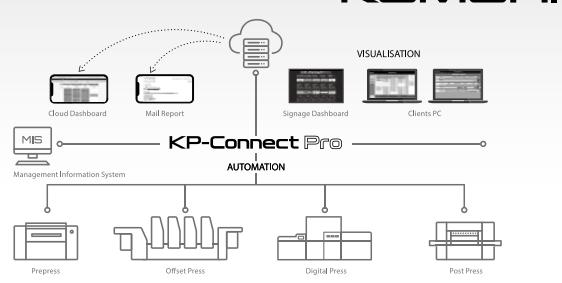
— 印刷DX新しい世界への扉 —

「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」

株式会社 小森コーポレーション

本社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋3-11-1 TEL.03-5608-7806

名古屋支店 〒454-0807 愛知県名古屋市中川区愛知町4-6 TEL.052-363-5011



コネクテッド・オートメーション
についての詳細はこちら



■愛印工組・10月期理事会

組合創立70周年記念事業に注力 「Resilience Award」に 11社の企業推薦

令和8年度新入社員研修会は 4月3日に開講

愛知県印刷工業組合（酒井良輔理事長、愛印工組）の令和7年度10月期理事会（第3回）が、10月27日15時よりメディアージュ愛知3階会議室において開催された。理事会では組合創立70周年記念事業、組合員の加入・脱退、委員会報告、支部活動報告等が行なわれた（出席者24名）。

理事会は、河原善高専務理事の司会進行で進められた。

冒頭、酒井理事長が次のように挨拶。「10月に開催された全印工連70周年記念式典には、当組合から20名の皆さんのが参加してくれた。大勢の参加に感謝申し上げる。本日の理事会では、創立70周年記念行事の報告と合わせ、CSR・プランディング委員会が、星が丘テラスで2日間にわたり開催した第2回ワクワクぷりんと博覧会の報告も行なわれるが、今回も実りある事業になった。また、理事会の後に鳥原前理事長が委員長を務める役員推薦会議が開催される。次年度に向けては、より良い事業運営のため、委員会の再編を考えている。さらに、新入社員研修会も箕浦靖夫副理事長、山本芳弘委員長と共に見直しを行ない、新たな事業に変革をしていく」などが明らかにされた。

理事会は、酒井理事長を議長に議案審議に入った。

組合員の加入・脱退では、（有）和弘印刷（野田和弘代表）の加入が承認された。また、1社の脱退が報告された。

次いで、組合創立70周年記念事業について発表された。創立70周年記念事業では、テーマ「Resilience ~共に歩み、未来を拓く~」のもと、令和8年1月14日に記念講演会、記念祝賀会兼新年互礼会を名古屋東急ホテルにおいて開催する。また、創立70周年記念として新しい事業に取り組み変革に挑戦する組合員を表彰する「Resilience Award」には11社の企業が推薦された。



10月期理事会と
挨拶する酒井理事長

委員会事業では、三役直轄事業の第9回親睦ゴルフコンペを9月10日セントクリークゴルフクラブで64名の参加を得て行なったと箕浦靖夫副理事長が報告。その後、各委員会事業の実施、予定の報告が行なわれた。

組織・共済委員会事業を北川毅委員長が行ない、共済制度加入促進活動について、「昨年度に引き続いて全印工連共済キャンペーンの重点工組となっているのでご協力をお願いしたい」と要請。

労務・新人教育委員会事業を山本芳弘委員長が行ない、断裁機取扱者に対する特別教育「学科講習」と「実技講習」の実施状況を報告した。また、11月1日の永年勤続優良従業員表彰、11月18日の助成金説明会、組合創立70周年記念事業の「案内リーフレット」及び「当日のプログラム」の作成、さらに、令和8年度「印刷会社の新入社員研修会」を4月3日に開講することを報告。

CSR・プランディング委員会事業を鈴木裕一委員長が行ない、実施済みの環境推進工場登録制度認定（更新）講習、JPPS（日本印刷個人情報保護体制認定制度）認定（更新）講習会、そして、10月18日～19日に行なった「第2回ワクワクぷりんと博覧会」について、愛印工組の印刷関連企業15社とクリエイター16名の参加で行なわれ、『ペーパーレス化が進む中、紙の魅力を十二分に伝えることができ、充実したイベントになった』などが報告された。

教育委員会事業は松本高武委員長が行ない、技能検定印刷職種オフセット印刷作業実技試験結果報告と、令和8年1月24日に行なう技能検定プリプレス職種DTP作業「実技試験」



創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。
**元サイン～印刷まで
トータルサポート**



お気軽にお問合せ下さい。
カ ラ 一 印 刷 全 般
株式会社 プロスペック
〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL〈052〉482-3117(代表)
FAX〈052〉482-3118
✉ info@ps-prospec.co.jp <https://www.ps-prospec.co.jp/>

及び「採点」について発表した。

経営革新委員会事業を富田章裕委員長が行ない、10月29日に開催した「DX推進・AI活用に特化」をテーマにしたデジタルマーケティングセミナーについて報告した。

青年部／名古屋而立会事業については、木野瀬将大理事が11月18日実施の愛印工組と名古屋而立会の共催セミナーの開催について報告し、参加を呼びかけた。

続いて行なわれた支部活動報告では、東北支部を太田善久委員長、西支部を渡辺達也支部長（副理事長兼務）、中村支部を清水幹友支部長、名南支部を野々村昌彦支部長、東南支部を江端茂義支部長、知多支部を久野彰彦支部長、西三河支部を杉谷芳紀支部長、東三河支部を鈴木祐司支部長が行なった。

連絡事項及び報告事項では、①各支部の新年会開催予定について、理事長又は副理事長の参加を希望の場合には、早めの連絡が要請された。②各支部における次期理事（支部長を含む）推薦及び会計担当者の選任の件では、12月5日までに決定ができなければ、決定の予定期間の連絡が要請された。③全印工連特別ライセンスプログラム「Adobe CC Edition4」の案内、④全印工連「創立70周年記念事業」の報告、⑤愛知県発行の視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック「すべての人にやさしい情報を届けよう」（令和7年2月改定）が紹介された。



■創立70周年記念事業 「RESILIENCE(レジリエンス)」 ～共に歩み、未来を拓く～

愛知県印刷工業組合は、昭和30年に創立以来70周年という大きな節目を迎えました。今回、創立70周年を記念し「創立70周年記念事業」を開催いたします。

■日時：2026年1月14日（水） 15:30～19:30

■会場：名古屋東急ホテル（TEL052-251-2411）

■内容：①記念講演会（3階パロックの間）15:30～

デジタル化・グローバル化や環境対応など、これまでになく大きな変化が訪れている印刷業界。紙媒体からデジタルメディアと共に活かしながら、お客様により価値のある情報を届けるためには、発想や技術・情報のアップデートが欠かせません。記念講演会では今後の市場予測や新たな需要、業界が目指す姿、全印工連の支援策、そして具体的な成功事例を通じて、未来を描くための新しい見方やヒントをお届けします。

●記念講演会講師：瀬田章弘氏

（全日本印刷工業組合連合会会長）

10年・15年勤続表彰者

令和7年度 永年勤続優良従業員表彰

愛知県印刷工業組合の令和7年度「永年勤続優良従業員表彰」が行なわれた。表彰は、同一事業所において10年及び15年の長きにわたり勤務し、社業の発展に貢献してきた努力が評価され、下記の皆さんに表彰された。表彰式は、各事業所において行なわれた。

愛知県知事表彰（勤続15年以上）（敬称略）

- 徳山正弘（昭和印刷株）
- 岡田知久、鈴木智也、山崎充高（株昭栄社印刷所）
- 林直樹、前田修、松本剛（長苗印刷株）
- 嶺綱伸太郎、若井朋宏（株マルワ）
- 鈴木崇暢（プリ・テック株）
- 小久保志帆、鈴木ゆかり、南東洋（豊橋合同印刷株）
- 全印工連会長・愛印工組理事長表彰（勤続10年以上）
- 辻木桜子（名鉄局印刷株）
- 松村衣織（鬼頭印刷株）
- 八神彰吾、寺内絵美、戸谷奈里、堀江弥生（株昭栄社印刷所）
- 佐野円香（株鈴活印刷）
- 小山翔太朗（株一誠社）
- 菊地剛生、佐藤嘉晃（新日本印刷株）
- 太田圭亮、小島知浩（株マルワ）
- 不破智、高原健吉（プリ・テック株）
- 小林洋樹（株ヨシノ印刷）
- 浅岡克俊（豊橋合同印刷株）

②記念祝賀会（3階ヴェルサイユの間）17:00～

創立70周年を祝し、組合員・関係各位と和やかに交流を深める祝賀会を開催いたします。Resilience Award授賞式と共に、笑顔で未来を語らう懇親のひとときをお過ごしください。

■愛知県印刷工業組合 創立70周年記念 Resilience Award —レジリエンス・アワード—

これまで印刷業界は、地域社会や地域経済に寄り添いながら、人と人をつなぐ大切な役割を果たしてきました。しかし、デジタル化や社会の変化が加速する今、私たちの事業も常に新しい挑戦を求められています。そうした中で、自らの強みを活かしながら新しい価値を生み出し、果敢に挑戦を続ける企業の姿は、多くの仲間にとて大きな刺激となります。

そこで創立70周年を機に、未来を切り拓く取り組みをたたえ合う場として「Resilience Award」を設けました。受賞企業の歩みが、他の組合員の皆様にとっても勇気となり、これから印刷業界を共に築く力になることを願っています。

下請振興法が改正

2026年1月から「下請法」が「取適法」へ!

規制内容の追加や規制対象の拡大など 取引環境の改善を図る

「下請法」は、正式な名称を「下請代金支払遅延防止法」といい、親事業者（大企業など）が下請事業者（中小企業など）に対して優越的な地位を乱用する行為を規制し、公正な取引と下請事業者の利益を保護するための法律である。この法律が規制内容の追加や規制対象の拡大がなされ2026年1月1日から「中小受託取引適正化法」（取適法）に改正される。この改正の背景には、物価上昇を上回る賃上げを実現するためには、事業主が賃上げの原資をしっかりと確保できるよう、サプライチェーン全体で適正な価格転嫁を進めることが重要になる。そのためには、価格転嫁を阻害し、受注者に不当な負担を押し付ける商習慣を是正することで、取引環境の改善を図る、などを目的に今回の下請法の改正となった。

この改正により、「下請」という用語が、時代の情勢にそぐわないとして、「親事業者」は「委託事業者」に、「下請事業者」は「中小受託事業者」に変更される。

【主な改正ポイント】

- 価格転嫁の促進：受注者から価格見直しの申し入れがあった場合、発注者は必ず協議に応じることが義務付けられた。協議を拒否又は無視・先延ばしすると違反となる。
- 手形払などの禁止：手形払などが原則禁止され、支払遅延に該当する行為とされる。また、手形払の代替として用いる電子記録債権についても、期日までに現金化が困難な場合は同様に禁止される。
- 規制対象の拡大：従来の資本基準に加え従業員数基準が追加され規制対象となる事業者が拡大。これにより、これまで下請法の保護対象外だった中小事業者や個人事業者（フリーランス）も保護の対象となる。
- その他の義務の追加：振込手数料を中小事業者に一方的に負担させる行為も禁止される。但し、事前に合意し発注者が補填するなどの条件を満たせば問題ない。

■改正事項

【法律の題名・用語の変更】

- 下請代金支払遅延等防止法⇒製造委託などに係る中小受託事業者に対する代金の支払いの遅延などの防止に関する法律

- 下請代金⇒製造委託等代金
- 親事業者⇒委託事業者
- 下請事業者⇒中小受託事業者

【適用対象の拡大】

- 適用基準に「従業員基準」を追加：従来の資本基準に加え、従業員基準（300人以下…製造業、建設、運輸など／100人以下…サービス業）が追加され、規制及び保護の対象が拡充され、これによりほぼ全ての中小企業に対する取引が対象となった。また、対象取引に「特定運送委託」を追加：適用対象となる取引に、製造、販売等の目的物の引き渡しに必要な運送の委託が追加された。

【禁止行為の追加】

- 「協議に応じない一方的な代金決定」を禁止：中小受託事業者からの価格協議の求めに応じずに、協議において必要な説明又は情報の提供をしないことによる一方的な代金の決定

が禁止される。

- 「手形払」等の禁止：手形払が禁止されるとともに、その他の支払手段（電子記録債券等）についても、支払期日までに代金相当額を得ることが困難なものが禁止される。

【面的執行の強化】

- 事業所管省庁において取適法に基づく指導及び助言ができるようになるほか、報復措置の禁止に係る情報提供先として事業所管省庁が追加される。

【その他】

- 製造委託の対象物に金型以外の型等が追加される。
- 書面交換義務について、中小委託事業者の承諾の有無に係らず、電子メールなどの電磁的方法による提供が可能となった。

■中小受託事業者の確認ポイント

取適法施行に伴い、同日以降に発注した取適法適用対象取引では、新たに以下の行為が禁止される。

（1）協議に応じない一方的な代金決定の禁止

中小受託事業者からの価格協議に応じずに、一方的に代金を決定することは違反になる。

→積極的に協議を求めて、より実質的な価格協議を

実現へ。

*協議を明示的に拒む場合だけでなく、例えば、協議の求めを無視したり協議を繰り返し先延ばしにしたりして、協議を困難にさせる場合も違反になる。

(2)手形払等の禁止

手形による代金の支払いは違反になる（「支払遅延」に該当）。

電子記録債権やファクタリングを使用する場合も、支払期日（最長で発注した物品等を受領した日から起算して60日以内）までに、代金満額相当の現金を得ることが困難なものは違反になる（「支払遅延」に該当）。

→支払期日に代金満額相当の現金を受取可能に

例えば、以下の場合は取適法に違反することになる。①製造委託等代金の支払期日よりも後に満期日が到来する場合に中小委託事業者において割引を受ける等の行為が必要なとき②中小委託事業者に受取手数料等の負担が生じるとき

*上記②に関して、決済に伴い一時的に受取手数料等の負担が生じる場合であっても、あらかじめ書面などによる合意の上、製造委託等代金の支払期日までに当該負担分を委託事業者が補填し、中小受託事業者が製造委託等代金の支払期日に代金満額相当の現金を受け取れるようになっていれば問題とならない。

(3)振込手数料を負担させることの禁止

中小受託事業者との合意の有無にかかわらず、振込手数料を中小受託事業者に負担させ、製造委託等代金から差し引くことは違反になる（「減額」に該当）。

→代金の受取にかかる振込手数料の負担が不要に

■委託事業者の確認ポイント

取適法の施行に伴い、同日以降に発注した取適法適用対象取引では、新たに次の行為が禁止される。

(1)協議に応じない一方的な代金決定の禁止

中小受託事業者からの価格協議の求めに応じずに、一方的に代金を決定することは違反になる。

(2)手形払等の禁止

■下請法(取適法)相談窓口

■不当なしわ寄せに関する下請法(取適法)の相談窓口…取引先から不当なしわ寄せを受けるおそれのある中小事業者の下請法(取適法)に関する相談を受け付けている。中小事業者の要望に応じてオンライン相談会も実施している。

●フリーダイヤル／0120-060-110

●受付時間／10:00～17:00(土日祝日・年末年始を除く)

■親事業者・下請け事業者に関係なく、下請法(取適法)の考え方についての相談窓口…窓口が混み合う場合があるので事前に予約が必要(富山県・石川県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県の担当窓口)。

●公正取引委員会事務総局中部事務所下請課

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-1(名古屋合同庁舎2号館 TEL052-961-9424



中小受取引適正化ガイドブック「下請法」は「取適法」へ
～知っておきたい制度改正のポイント～
ガイドブックには、●取適法の概要 ●取適法の適用対象 ●委託事業者の義務 ●委託事業者の禁止行為 ●事件処理手続き ●優越規制の概要 ●取り適法条文などが収録されている。

手形による代金の支払は違反になる（「支払遅延」に該当）。

(3)振込手数料を負担させることの禁止

中小受託事業者との合意の有無にかかわらず、振込手数料を中小受託事業者に負担させ、製造委託等代金から差し引くことは違反になる（「減額」に該当）。

■委託事業者の義務・禁止事項

委託事業者には、4つの義務と11の遵守事項が課せられている。内容は以下の通りになる。

【義務項目と具体的な内容】

①発注内容等を明示する義務：発注に当たって発注内容(給付の内容、代金の額、支払期日、支払方法)等を書面又は電子メールなどの電磁的方法により明示すること

②書類等を作成・保管する義務：取引が完了した場合、給付

■「下請かけこみ寺」から「取引かけこみ寺」に名称変更

「下請代金支払遅延法及び下請中小企業振興法」の一部を改正する法律が、令和8年1月1日から施行されるのに併せ、「下請かけこみ寺」の名称が「取引かけこみ寺」に変更される。

「取引かけこみ寺」における相談・対応などを担う機能は名称変更前と変わりない。中小企業、個人事業主、フリーランなどが抱える取引上の悩み相談を受け付けている。問題解決に向けて専門の相談員や弁護士がアドバイスを行なってくれる。

取引かけこみ寺：●相談無料 ●秘密厳守 ●匿名相談可能

●全国48か所。

フリーダイヤル：0120-418-618(受付時間／平日9:00～12:00、13:00～17:00土日・祝日・年末年始を除く)、携帯電話からもOK、近くの「取引かけこみ寺」に繋がる。

内容、代金の額など、取引に関する記録を書類又は電磁的記録として作成し、2年間保存すること

③支払期日を定める義務：検査をするかどうかを問わず、発注した物品等を受領した日から起算して、60日以内のできる限り短い期間内で支払日を定めること

④遅延利息を支払う義務：支払遅延や減額などを行なった場合、遅延した日数や減じた額に応じ、延滞利息（年率14.6%）を支払うこと

【禁止事項と具体的な内容】

①受領拒否：中小受託事業者に責任がないのに、発注した物品等の受領を拒否すること

②支払遅延：支払期日までに代金を支払わないこと（支払手段として手形払等を用いること）

③減額：中小受託事業者に責任がないのに、発注時に決定した代金を発注後に減額すること

④返品：中小受託事業者に責任がないのに、発注した物品等を受領後に返品すること

⑤買いたたき：発注する物品・役務等に通常支払われる対価に比べ、著しく低い代金を不当に定めること

⑥購入・利用強制：正当な理由がないのに、指定する物品や役務を強制して購入・利用させること

⑦報復措置：公正取引委員会、中小企業庁、事業所管省庁に違反行為を知らせたことを理由に、中小委託事業者に対して取引数量の削減・取引停止など不利益な取り扱いをすること

⑧有償支給原材料費等の対価の早期決済：有償支給する原材料費等で、中小委託事業者が物品の製造などを行なっている場合に、代金の支払日より早く原材料等の対価を支払わせること

⑨不当な経済上の利益の提供要請：自己のために、中小委

託事業者に金銭や役務等を不当に提供させること

⑩不当な給付内容の変更、やり直し：中小受託事業者に責任がないのに、発注の取消しや発注内容の変更を行なったり、無償でやり直しや追加作業をさせること

⑪協議に応じない一方的な代金決定：中小受託事業者から価格協議の求めがあったにもかかわらず協議に応じなかったり、必要な説明を行わなかったりするなど、一方的に代金を決定すること

■「取適法」ガイドブック

中小受託取引適正化法（取適法）に関する資料紹介。

●改正法概要「下請代金支払遅延等防止法及び下請け中小企業振興法の一部を改正する法律」

●取適法リーフレット「2026年1月から『下請法』は『取適法』」へ

●委託事業者向けリーフレット「取適法ポイント」

●中小受託事業者向けリーフレット「取適法ポイント」

●取適法特設サイト「2026年1月施行～下請法は取適法へ～ 改正のポイント」、「商い昔話～下請法はトリテキ法へ～」、「協議を行なわない一方的な代金決定の禁止」、「手形払などの禁止」、「適用基準に従業員基準を追加」、「対象取引に特定運送委託を追加」など。



取適法各種パンフレット



取適法の詳細

001353550.pdf

●動画視聴対象：印刷工業組合所属組合員

●動画公開期間：2026年1月31日（土）まで

■全印工連：CSR認定

ワンスター：株鈴木紙工所／ツースター：半田中央印刷（株）

新規3社、認定企業146社に！

全日本印刷工業組合連合会は、10月3日第50回全印工連CSR認定委員会を開催し、ワンスター認定、ツースター認定、スリースター認定において、新規に各1社を認定した。また、更新18社を認定した。これによりCSR認定企業は合計146社になった。

【新規認定企業】

●ワンスター認定：株鈴木紙工所（愛知県弥富市） ●ツースター認定：半田中央印刷（株）（愛知県半田市） ●スリースター認定：株美生社（大阪市西成区）。

【第52期ワンスター認定募集】

11月4日より「第52期ワンスター認定」の募集が行なわれている。応募締め切りは2026年1月31日（金）、認定登録は2026年3月（予定）。

■全印工連

人的資本経営関連情報（動画）の提供

サステナビリティ・CSR委員会

全日本印刷工業組合連合会（全印工連）より、11月5日に開催された「令和7年度第3回サステナビリティ・CSR事前報告会」で取り扱った人的資本経営関連情報における説明動画の提供があり、下記URLから閲覧することができる。この動画は組合員を対象にしており、2026年1月末までの期間限定でYouTube上での視聴が可能となっている。

【動画資料とダウンロード先】

①「しわ寄せ」防止特設サイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/shiwayoseboushi/>

②教育訓練休暇給付金って？

<https://www.mhlw.go.jp/content/001568786.pdf>

③日本年金機構からのお知らせ（令和7年10月号 全国版）
<https://www.nenkin.go.jp/service/kounen/info/oshirase/20140627.files/zenkoku202510.pdf>

④離職者へのマイナーポータルの離職票の直接送付サービス開始（2025年1月～）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/>

「Japan Color認証制度」取得状況

●標準認証●マッチング認証●プルーフ運用認証●プルーフ機器認証 ●デジタル印刷認証

一般社団法人日本印刷産業機械工業会：Japan Color認証事務局から、各認証制度の取得状況が公表された。

Japan Color認証制度は、従来、印刷業界では印刷会社ごとに独自の印刷職の基準を設けており、同じデータでも印刷会社が変われば色が合わないというのが実情であった。このような状況の中で、オフセット枚葉印刷における印刷色の標準的な基準として、ISO国際標準に準拠したJapan Colorが策定された。その普及と印刷の標準化を促進し、実効性のあるものにするため、公正な第三者機関により認証を行なうJapan Color認証制度が創設された。

JapanColor認証制度は、平成21年10月にスタートした「標準印刷認証」と平成23年9月に開始した「マッチング認証」、「プルーフ運用認証」、「プルーフ機器認証」、そして平成29年5月に開始した「デジタル印刷認証」からなる。

—印刷技術の標準化を推進し、印刷品質の安定と生産性の向上を目指すツール—

●標準印刷認証

標準印刷認証は、印刷工場における印刷機械のメンテナンスと数値管理等によって安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力について認証する。審査にあたっては、申請工場が印刷物を認証基準に適合させる能力と、5,000枚の連続印刷において安定した品質の印刷物を作成できる能力等を有しているかどうかを判定する。

※現在の取得状況…2025年10月末現在における認証取得工場は188工場。

●マッチング認証

マッチング認証は、標準印刷認証を取得していることを前提に、高度なマネージメント技術を駆使して、印刷物の色を、認証基準値の許容幅に入れることができる能力等について認証する。このため、難易度は標準印刷認証と比べてかなり高いものとなる。

※現在の取得状況…2025年10月末現在における認証取得工場は40工場になる。

●プルーフ運用認証

プルーフ運用認証は、デザイン会社や印刷会社が個々のプルーフ機器(見本出力機器)のメンテナンスや適正な運用を行なうことにより、信頼性の高いプルーフ(見本出力物)を安定的に出力できる能力などを認証する。原則として、プルーフ機器認証を取得した機器を使用して運用認証を申請することになる。

※現在の取得状況…2025年10月末現在における認証取得

工場は38工場になる。

●プルーフ機器認証

プルーフ機器認証は、プルーフ機器(見本出力機器)が印刷用途に使用できる一定の品質のプルーフ(見本出力物)を安定的に出力できるかを認証する。審査にあたっては、プルーフ機器・RIP(出力のためのソフトウェア)・プルーフ用紙の3つの組み合わせで判定する。

※現在の取得状況…2025年10月末現在における認証取得件数は126件になる。

●デジタル印刷認証

デジタル印刷認証は、デジタル印刷機のメンテナンスと数値管理等によって、高品質の印刷物を安定的に作成できる運用能力を認証する。申請工場が印刷物を認証基準に適合させる能力と、500枚の連続印刷において安定した品質の印刷物を作成できる能力などを有しているかどうかを判定する。また、印刷前工程のワークフローについても審査対象(プリフライトチェック審査)となる。

※現在の取得状況…2025年10月末現在における認証取得工場は20工場になる。

【Japan Color認証制度取得のメリット】

品質や生産性の向上につながる様々なメリットから、企業体質の強化を図ることができる。

- 印刷品質の安定…品質の安定した印刷物をスピーディーに提供できる
- 企業イメージの向上…認証取得により高い能力をアピールできる
- スキルアップ…標準化を進めることで社員のスキルアップができる
- コストダウン…標準的な印刷条件により、損紙及びインキ使用量などの削減で、生産性向上による経費削減が期待できる
- 取引上の優位性…印刷基準が取引や入札条件になったとき取引が有利になる。



【問い合わせ先】

(一社)日本印刷産業機械工業会Japan Color認証制度事務局(〒105-0011東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館)
TEL03-6809-1617 FAX03-3434-0301

■職場の年末安全衛生推進運動

愛知労働局・管下労働基準監督署 「職場の年末安全衛生推進運動」

労働災害防止への取り組み

令和元年以降死傷者数は増加傾向

毎年、年末恒例の「職場の年末安全衛生推進運動」が12月1日から31日までの1か月間展開される。愛知労働局では、死傷災害の増加に歯止めがかからない状況を打破しようと、管下の労働基準監督署と共に「令和7年度 職場の年末安全衛生推進運動」を実施する。年末を迎えるにあたり、「働く人が誰一人ケガをすることなく明るい新年を迎えられるよう、事業者が守るべき『基準』を決め、働く人が定められた基本動作を守るという『基本的な管理』を日々実践していくことが大事」と提唱している。



「職場の年末安全衛生推進運動」ポスター

●スローガン:「無災害 みんなで迎える 明るい新年」

●実施期間:令和7年12月1日～令和7年12月31日

●主唱者:愛知労働局及び管下労働基準監督署

死傷災害に歯止めを！

愛知労働局では運動の趣旨について次のように説明している。「愛知労働局管内において、令和6年に労働災害により亡くなった方は34人（前年比1人減）、新型コロナ感染症を除く死傷者災害に被災された方（以下「死傷者」）8,147人（前年比4%増）となっている。また、本年9月末現在、労働災害により亡くなった方は16人（前年同期比5人減）、死傷者は5,021人（前年同期比2%減）となっているが、令和元年以降、死傷者数は増加傾向にある。

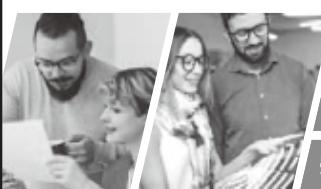
愛知労働局及び管下労働基準監督署では、自律的でポジティブな安全衛生管理の促進を図るために、『安全経営あいち®』を推進しており、年末を迎えるにあたり、働く方々が誰一人ケガをすることなく明るい新年を迎えられるよう、現場や作業の実態と関わる危なさを把握し、事業者が守るべき『基本』を決め、労働者が定められた基本行動を守るという『基本的な管理』を日々実践していくことを提唱し、『令和7年度 職場の年末安全衛生推進運動』を実施する。

（※）「安全経営あいち」は別項に紹介。



Giving Shape to Ideas

お客様の可能性を引き出す印刷現場での
働き方改革をご提案します。



専任者不要 「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化 「無駄のない」
シンプルな印刷プロセス

受注体制の拡充 「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-1広小路本町ビル7階
プロフェッショナルプリント事業部 プロフェッショナルプリント事業部 中日本営業部



【主唱者及び協賛者の実施事項】

- 局署及び労働災害防止団体との合同パトロール
 - 本運動の周知による管内事業場の安全衛生意識の啓発
- 【事業場における実施事項】
- 事業者の実施事項：現場や作業の実態と関わる危なさの把握／守るべき「基本」を決め労働者への徹底を図る
 - 労働者の実施事項：定められた基本の遵守

事業者の基本と労働者の基本動作

【事業者の守るべき「基本」（例）】

- 整理整頓のための収納場所を決めていますか？
- 作業に応じた服装や保護具を決めていますか？
- 作業手順を決めていますか？（臨機応変な対応を求めるには「基本」を決めた上でのこと）
- 安全な通路を決めていますか？
- 階段に手すりを設置していますか？
- 機械装置の異常時に「止める・呼ぶ・待つ」と決めている、どのボタンで止めるか教育していますか？／誰をどのように呼ぶか決めていますか？／どのように待つか決めていますか？
- 機械の清掃、注油、修理、点検等の手順を決めていますか？
- あらかじめ作業計画を決め、関係者に周知していますか？

【労働者の守るべき「基本動作」（例）】

- 整理整頓をしましょう。
- 決められた服装や保護具を身に着けて作業をしましょう。
- 決められた作業手順を守りましょう。
- 決められた通路を歩きましょう。
- 階段では手すりを持ちましょう。
- 機械装置に異常があれば、「止める・呼ぶ・待つ」を励行しましょう。
- 機械の清掃、注油、点検等では、機械を停止しましょう。
- 作業計画を変更しなければならないときは、判断を仰ぎましょう。

本来の「管理」を考える

愛知労働局及び管下労働基準監督署では、守るべき「基本」を決めるためには、現場や作業の実態と、関わる危なさを把握することが必要不可欠であるとしている。そして、危なさの度合いに応じて対応を決め、「基本」をしっかりと定める。「基本」を守らせるのは事業主の役割であり、定められた基本動作を守るのは労働者の役割である。労働者に任せた安全衛生「活動」から事業主の行なう安全衛生「管理」へ。愛知県労働局管下労働基準監督署は、本来の「管理」に立ち戻ることを提唱している。

安全経営あいち 安全経営あいち賛同事業場制度



「安全経営あいち®」は、愛知労働局が推進している「安全経営」に関する取り組みになる。その骨子は次のようになる。

●経営者に必要な視点として重視されているのに、いわゆるPQCDMS 生産性 (Productivity)、品質 (Quality)、原価 (Cost)、納期 (Delivery)、安全 (Safety)、士気 (Morale)及び環境 (Environment)の7つがある。これらはどれひとつも欠かすことはできず、逆にどれかひとつだけを重視することもできない。一方、安全と生産性、品質、原価、納期等は、互いにトレードオフの関係にあるとする根強い誤解がある。

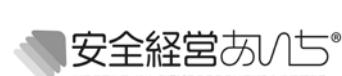
●リスクアセスメントを通じて現場の実態を把握し管理向上させることは、安全性の向上はもとより、生産性、品質、原価、納期、士気および環境を同時に向上させ、さらには企業価値をも向上させることに繋がる。

●安全管理を経営課題と捉え、生産性、品質、原価、納期、士気及び環境と一体的かつ戦略的に管理する経営手法として、「安全経営あいち®」を提唱している。愛知労働局では、その普及促進を図るとともに、経営者がPQCDMSを一体的に管理することの重要性を明確に認識し、事業場内の取り組みにリーダーシップを發揮することを促すため、独自に推進する制度「安全経営あいち賛同事業場制度」を設けている。

●「安全経営あいち®」の普及促進に賛同する事業場は、「安全経営あいち®」の名称・ロゴの使用ができ、これにより、「安全経営」に取り組む姿勢と、その基礎となるリスクアセスメントに積極的に取り組む姿勢を、同時に事業場内外に示し、企業価値向上の一助とすることができます。

●賛同事業場を令和9年まで募集している。令和7年11月19日現在2,047の企業・事業場が登録している。

※詳細は、下記QRコードから検索。



安全経営あいちロゴマーク

情報ひろば

日印産連

NEWS LETTER(事例紹介)

印刷イノベーション最前線!

一般社団法人日本印刷産業連合会（日印産連）では、業界内における情報発信を一層強化することを目的に、NEWS LETTER「新たなビジネス事例【印刷イノベーション最前线！】」の配信を開始した。

NEWS LETTERでは、加盟企業が展開している新技術・新サービス、新規事業への挑戦、さらには地域社会との連携による活性化の取り組みなどを幅広く取り上げ、ダイジェスト形式で紹介している。日印産連では、「優れた印刷事例や印刷以外の分野での先進的な取り組みをコンパクトに届け、これらの情報を共有することで、持続可能な経営の一助となるヒントとともに、印刷産業全体の発展に寄与していくことを目指している」とコメントしている。

●8月29日(Vol.1)

(有)アサヒ印刷(漆澤知昭社長)

【地域活性化のアイデア企画例】

事例紹介第1回目に青森県弘前市の㈲アサヒ印刷が取り上げられている。同社は商業印刷、事務用印刷から紙以外のアクリル・木材・衣服・布へのデジタル捺染によるガーメントなどへの印刷を主体に業態転換をしてきた。ご当地の魅力を詰めたカプセルトイ『ごとっちゃん』が地元を盛り上げている。ごとっちゃんは、取引先のイトーヨーカドー弘前店から地元を盛り上げるための施策に対して相談を受け、ご当地のカプセルトイを開発することで誕生した。地元に親しまれるソウルフードや地元の景色、乗り物などをモチーフにしたアクリル商品を企画・制作。現在、イトーヨーカドー全国81店舗で220台以上が設置されている。地域に根差した商品づくりを通じ、地元の活性化に貢献している。

●9月30日(Vol.2)

(株)五六堂印刷(鎬 操子社長)



NEWS LETTER
VOL. 1

【デザイン力を活かした商品開発例】

岩手県盛岡市の老舗印刷会社㈱五六印刷が取り上げられた。同社は、昭和48年に印刷会社として設立した後、地域に根差した営業展開で様々な印刷需要に応えている。2014年イメージキャラクター「ゴロスケ」を導入してブランディングを強化。さらに2023年には「GOROH'S」オンラインショップを立ち上げ、クッションやキーホルダー、タンブラー、クリアファイルなど、ゴロスケを描いたオリジナルグッズの販売を開始している。更に同社では、昨年ドッグフード販売の専門業者と協業し地元産アロニアを使ったドッグフード「Cabmmy Dog」(キャブミィ ドッグ)を開発し発売。

「同社のモットーは、アイデアや企画力を含む総合的なデザイン力で、顧客の潜在ニーズに応える点である。今後、ますますデザイン力を生かした商品開発に注力していくのではないか」と結んでいる。

「IGAS2027」開催

『Touch to Connect 一つながる力、触れる価値』

2027年8月5日～9日／東京ビッグサイト東展示棟

一般社団法人日本印刷産業機械工業会(JPMA、森澤明彦会長)とプリプレス＆デジタルプリントイング機材協議会(プリデジ協、山田周一郎会長)は、2027年8月5日から9日までの5日間、東京有明の東京ビッグサイト東展示棟で「IGAS2027(国際総合印刷テクノロジー＆ソリューション展)」を開催する。現在、出展募集が開始されている。

IGAS2027は、東京ビッグサイトの大規模改修に伴い5年ぶりの開催になる。テーマに『Touch to Connect 一つなる力、触れる価値ー』を掲げて、プリプレス、プリメディア、印刷、製本、紙工、ラベル、パッケージング、クロスマedia関連の最新の技術、サービス、ソリューションと、それによる新しいビジネス創出を提案し、活発なビジネス交流の場を提供する。

特に今回は、前回も企画し好評であったIGAS LIVE TVの内容をさらに充実するほか、パネルディスカッション、見学ツアー、テーマゾーン及びIGAS LIVE STUDIOを企画している。新たに実施予定のIGAS LIVE STUDIOでは、展示会場にイベントスペースを設けて、ゲストとの対談や出展企業のアピールなどを展開する。

来場者数は、新型コロナウイルスのパンデミック前に開催されたIGAS2018規模を目指す。そのため、国内外のプロモーションに力をいれ、これまで以上の情報発信を行ない、更なる来場者の拡大を図る。

【開催概要】

- 名称: IGAS2027(国際総合印刷テクノロジー & ソリューション展)
 - 主催: 一般社団法人日本印刷産業機械工業会／プリプレス＆デジタルプリントイング機材協議会
 - 会期: 2027年8月5日(木)～8月9日(月)
 - 時間: 10:00～17:00(初日のみ11:00～17:00)
 - 入場料: 当日販売2,000円(事前登録の場合は無料)

●会場：東京ビッグサイト東展示棟（東京都江東区有明3-10-1）

【出展募集要項】

●出展申込期間：2025年10月29日（水）～2026年12月18日（金）

●出展料金：1小間あたりの通常出展料金／主催者団体の会員・海外直接出展者=337,000円、主催者団体の団体会員=353,000円、国内一般出展者=426,000円（いずれも消費税込）

●早期申込割引期間：2025年10月29日（水）～2026年10月30日（金）／1～20小間割引料3%、21小間以上割引料6%

●搬入期間：2027年7月31日（土）～8月4日（水）

●搬出期間：2027年8月10日（火）～8月11日（水）

※公式WEBサイト：<https://www.igas-tokyo.jp>

※問い合わせ先：●一般社団法人日本印刷産業機械工業会IGAS2027事務局TEL03-3434-2656 FAX03-3434-0301 ●プリプレス＆デジタルプリント機材協議会TEL03-5155-7925 FAX03-5155-7930

愛知県経営者協会

「2025年度 愛知のモデル賃金」

全業種のモデル賃金平均額303,984円

愛知県経営者協会は、「2025年度 愛知のモデル賃金」調査結果を公表。調査時期は2025年7月1日～8月22日、調査対象は愛知県経営者協会及び名古屋商工会議所の会員企業2,463社、回答企業は450社（回答率18.3%）。

【調査結果の要点】

①2025年度のモデル賃金

月額の平均額は、303,984円（前回調査の平均額は293,559円）、増減率は前年比3.6%増（前年調査3.1%増）。比較可能な2005年以降の調査から平均額、増加率とも過去最高を記録した（表参照）。

②2025年度 管理職の賃金（部長・課長）

2025年度の管理職の実在者賃金は、部長相当職の平均は578,951円（前年度564,458円）、課長相当職の平均は468,811円（前年度455,642円）となった。

③2025年度 モデル退職金（3年に1度調査を実施）

回答のあった企業419社のうち、「過去3年間で退職金制度

盛功社の創業は1889年。2023年に135周年を迎えた。
3世紀にわたるご愛顧をいしづえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

 株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市東区樺木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>

県内企業の2025年度月額モデル賃金（全業種平均）
(単位:円)

	総合職 (大卒)	現業職 (高卒)	一般職 (大卒)	一般職 (高卒)
22歳	233,929	221,067	213,682	210,856
30歳	300,154	280,017	255,385	250,500
40歳	403,364	359,974	304,431	302,527
50歳	493,012	424,197	346,532	342,721
60歳	498,320	428,659	351,575	344,478

を見直した」または「見直しを検討している」と回答した企業は29.3%あった。見直しの内容では、「確定拠出年金の導入・拡大」(41.4%)が最も多く、次いで、「貢献度に応じた給付」(39.1%)であった。2025年度の大卒総合職60歳（勤続38年）の退職金は14,010,279円（2022年度13,275,792円）だった。

※モデル賃金とは、学校卒業後ただちに入社し、その後標準的に昇進・昇格したものに対して、自社の賃金規定や賃金表をあてはめ、理論モデル上の年齢ごとに調査したもの。

※「2025年度版 愛知のモデル賃金」は、定価4,400円（税込、送料別）で販売している。

問い合わせ先：<https://www.aikeikyo.com/>

中小企業庁

「賃上げ・最低賃金対応支援特設サイト」

ミラサポPlusサイト内にオープン

中小企業庁では、過去最大となった今年度の最低賃金引き上げに対応する中小企業・小規模事業者を後押しするべく、「賃上げ・最低賃金対応支援特設サイト」をミラサポPlusのサイト内にオープンした。

補助金・助成金（IT・設備投資支援に関する補助金、業務改善助成金、キャリアアップ助成金等）、税制優遇（賃上げ促進税制）、相談窓口（よろず支援拠点、働き方改革推進支援センター等）、自社に合った支援の情報が一括で確認できる。

賃上げの実現に向けた3つのステップが示されている。●賃上げに必要な人件費の増加額シミュレーション●商品・サービス別や顧客別の利益計算し、伸ばすべき商品・サービスを検討●賃上げ原資の確保に向けた対策検討、で構成されている。

高精細印刷とPUR製本の最強タッグ

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

 大日印刷株式会社

☎0564-62-8461㈹
FAX0564-62-8463

大日印刷

検索



第62回光文堂新春機材展

「Print Doors 2026」

印刷・情報産業の現在と未来を知る2日間

印刷機材の総合商社㈱光文堂が主催する第62回光文堂新春機材展「Print Doors 2026」は、2026年1月28・29の2日間名古屋市港区の金城ふ頭にある名古屋市国政展示場（ポートメッセなごや）で開催されます。

される。今回で62回目を数えるが、前回は東海3県下はもとより北海道から沖縄まで全国各地から9,600余名が来場した。

Print Doors 2026は、印刷・情報産業の現在と未来を知る2日間、ポートメッセなごや3号館で展開される。印刷・製版・製本・加工など、関連する最新鋭機材の展示から、業界の抱える各種課題解決のソリューションが提案される。主催する光文堂では、「お役に立つヒントが必ずあると思います。光文堂社員もお手伝いさせていただきますので、多くの皆様のおこしをお待ちしております」と、意気込みを語っています。

第62回光文堂新春機材展

「Print Doors 2026」

●開催日時=2026年1月28日(水):AM10:00～PM5:00、1月29日(木):AM9:00～PM4:00

●会場:名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）3号館（名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地、TEL052-398-1771）

●出展機種:プリプレス・印刷・製版・製本機械及び関連各種機器・資材／情報処理器・複写機及び関連各種機器・資材／紙加工機・包装・運搬機械及び関連各種機器・資材

●予定小間数:350小間（前回の実績:出展企業数153社、展示小間数390小間）

【同時開催】

●印刷ビジネス交流コーナー「コラボレーション展」（前回の出展実績58社）

●新春機材展特別セミナー

●総合機材展カタログ「PD2026プリントイングナビ」発行（見学者に配布する展示会ガイド。ガイドには、機材展出展社の住所、TEL及び出展機械・資材の紹介とコラボレーション展出展者の住所、TEL、出展製品のコメントなどを紹介。展示会終了後においても、ビジネスガイドとして利用されている）

●お楽しみ抽選会

日本印刷技術協会(JAGAT)

「印刷白書2025」

印刷業界で唯一の白書刊行

(公社)日本印刷技術協会(JAGAT)は、このほど、「印刷白書2025」を発刊しました。あらゆる産業を顧客とする印刷産業は、さまざまな産業と密接に関わりを持っている。『印刷白書』では、印刷産業の現状分析から印刷ビジネスの今後まで幅広く取り上げている。印刷・同関連業界だけでなく広く産業界全体に役立つ年鑑とするため

に、社会・技術・産業全体・周辺産業という多様な観点からビジョンを描き込み、今後の印刷メディア産業の方向性を探る。

印刷業界における唯一の白書として、1994年以来毎年発行しており、印刷関連ならびに情報・メディア産業の経営者、経営企画・戦略、新規事業、営業・マーケティングの方、調査・研究に携わる方、研究室・大学及び公共図書館などの蔵書として、幅広い用途に利用できる。

【概要】

●タイトル:印刷白書2025 ●監修(著):公益社団法人日本印刷技術協会 ●判型:A4判並製本 ●頁数:112頁(オールカラー) ●ISBN-13:978-4-88983-181-8 ●発行:公益社団法人日本印刷技術協会 ●定価:15,400円(本体14,000円+税10%)
※JAGAT会員は特別割引税込価格

9,900円、JAGAT会員企業の代表者には1冊無償配布。

【内容】

●第1章 Keynote Re : Connect ●第2章 印刷産業の動向 ●第3章 印刷トレンド ●第4章 関連産業の動向 ●第5章 印刷産業の経営課題 ●巻末資料。

編集だより

■今年最後の「あいちの印刷」をお届けします。愛印工組も70年を迎えました。振り返ればいろいろなことがありましたが、来年もお役に立つ情報をお届けいたします。今後ともよろしくお願い致します。

あいちの印刷

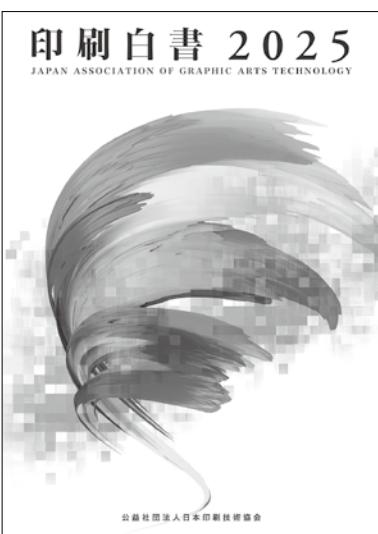
発行人 酒井 良輔
編集組 織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

メディアージュ愛知1階
TEL〈052〉962-5771
FAX〈052〉951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

No.649

令和7年12月10日発行



印刷白書 2025

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通じ
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

adWiSE

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070 FAX 052-528-1071 E-mail:ad-wise@ad-wise.biz https://www.ad-wise.biz/

グラフィックデザイン

Graphic design

ウェブデザイン

Web design

セールスプロモーションデザイン Sales promotion design

エディトリアルデザイン

Editorial design

アドバタイジングデザイン

Advertising design

オンデマンドプリントイング

On-demand printing

在学由字

モリサワ

文字とつながる。世界がひろがる。



Morisawa Fonts

フォントのサブスクリプションサービス

豊富な書体ライブラリー／複数デバイスでの利用／簡単なフォントインストール



Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511
紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507
皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518
地球に優しい
「LED照明」を中心省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社アクアス

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 https://www.axuas.jp

heart

人から人へ心を伝えるハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



ハート封筒(株)
取扱

封筒フィーダ搭載で連続印刷可能！ imagePRESS 封筒搬送ユニット

■封筒を補充する際のロスタイルムがなくプリンターの性能を最大限に引き出します！

■軽オフの更新時にご検討ください。



キングコーポレーション

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号
TEL:052-961-7661 FAX:052-961-7662

キング 封筒

TOP



説明動画



デモ動画



カタログ



SLIM&STRONG その先へ



KOBUNDO

全自動カード製造機

KBD AUTO CardMaker

全自動カード機は、
カードやトランプカードの
製造に特化した高効率の
設備！



NEW

昇華型熱転写機

KBD テキスタイル

アバレル向けから、
タオル・のぼり・旗等の
ノベルティまで、
幅広く高品質な仕上がりを
実現！！

1200S/1600/1600S



NEW

●連続色安定性

●やさしい操作性

[特長]
■非接触センサーにより転写紙接触面を
直接温度管理
■アンダーベーバー、生地、転写紙、
各軸を微調整、加工不良を削減します
■トルク調節付巻き取り装置

ポリエステル素材への
グラフィック転写なら、
KBDテキスタイルに
お任せ！

クラウド型入稿・進捗管理システム

KBD ミエル ミエル

入稿業務と進捗を見える化し、
クリエイティブ管理を効率化します。
タスク管理ツールは世の中に多数発売されていますが、
印刷データ制作に特化した管理ツールはなかなかありません。
KBD ミエル ミエルは現場とお客様のやり取りを見える化し、進捗
状況の共有を可能にするクラウド型入稿・進捗管理システムです。
KBD ミエル ミエルはクリエイティブワークで使いやすく、見てすぐ
わかるツールとなっています。



NEW

KBD リンクリンク II



NEW



印刷機材の総合商社 株式会社光文堂

<http://www.kobundo.co.jp>

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・金沢・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道
青森・山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・徳島・山口・大分・熊本・沖縄